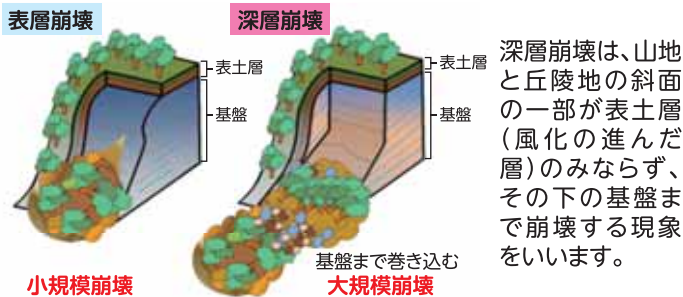


深層崩壊のメカニズム 解明に取り組んでいます

県政スポット

県では、平成23年9月に起きた紀伊半島大水害からの復旧・復興に向けた取り組みの柱である「安全・安心への備え」を推進するため、深層崩壊のメカニズム解明と対策研究を行っています。今回は、これまでの3年間の県の調査・研究の成果や取組内容を紹介します。

深層崩壊と表層崩壊の違い



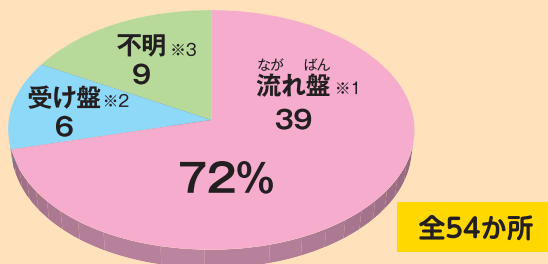
五條市と十津川村の境界付近で発生した3つの深層崩壊

深層崩壊についてわかってきたこと

紀伊半島大水害で発生した54か所の深層崩壊か所を調査して、次のようなことがわかりました。

- 39か所が流れ盤構造の斜面で発生
- 35か所が北向き斜面で発生
- 36か所が山頂付近になだらかな地形の分布する斜面で発生
- 41か所が過去の崩壊跡地の存在する斜面で発生
- 累積の降雨量が600mmを超えたあたりから、深層崩壊が発生
- 付加体とよばれる地質で多発 など

*深層崩壊の現象と調査・分析の詳しい情報は、「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告」として県深層崩壊対策室HPに掲載しています。



調査数の72%が流れ盤

- ※1: 地層の傾斜と斜面の傾斜が同じ方向であることをいいます。
- ※2: 地層の傾斜と斜面の傾斜が交差していることをいいます。
- ※3: 現地で地層構造が確認できなかったか所または地層の乱れが著しく判定できなかったか所を示します。

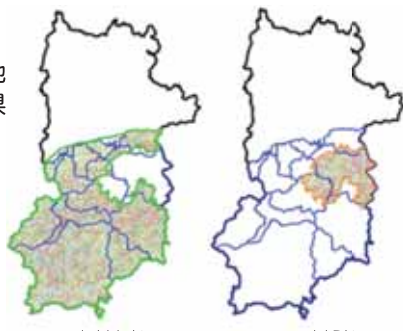
調査・研究の成果を地域防災や防災意識の向上に役立てています

● 深層崩壊マップ

深層崩壊が多発した県南部の地域について地質帯ごとに『奈良県深層崩壊マップ』を作成しました。



▲市町村へのマップ説明のようす



範囲: しまんと帯

範囲: いかづた帯

● 模型の実演・パネル展

深層崩壊の規模や被害のイメージをわかりやすく伝えるための模型やパネルを作成し、ショッピングモールなどで広報活動を行いました。



▲パネル展示のようす



▲模型の実演のようす

調査・研究の成果を情報発信しました

● 防災セミナー

昨年11月24日に、県文化会館(奈良市)で、「紀伊半島大水害から3年“大規模災害に備える”～奈良から世界へ情報発信～」と題した防災セミナーを開催しました。

▶海外からの19人を含め219人が参加しました



● 国際シンポジウム「インタープリvent2014」

昨年11月25～28日に、県新公会堂(奈良市)で、国際防災学会「インタープリvent」が開催され、日本と海外の土砂災害の防災・減災に関する研究成果が共有されました。

▶25か国から406人が参加しました

